

## 『こんにちは県議会です』飯山高等学校 開催概要

- 1 開催日時 平成30年12月18日（火）午後2時00分から午後3時45分
- 2 開催場所 飯山高等学校 図書館棟3F大講義室
- 3 出席者
  - 飯山高等学校の生徒、同校教員
  - 鈴木 清議長、小林東一郎副議長
  - 広報委員  
酒井 茂議員、堀場秀孝議員、小山仁志議員、山口典久議員、高島陽子議員
  - 地元議員  
宮本衡司議員、丸山栄一議員
- 4 意見交換テーマ
  - 「北信濃の観光について」
  - 「外国人労働者の長野県受け入れについて」
  - 「今後の飯山、中野地区の高校再編について」
  - 「長野県内の新たなスポーツ施設の設置及び現状の施設の改修について」
  - 「過疎地域のさらなる過疎化にブレーキをかける方策について」
- 5 開催内容  
グループディスカッション、意見・感想等の発表
- 6 参加者 51名（議員9名、生徒28名、傍聴者14名）



## ○開会

(司会：小林副議長)

皆さんこんにちは。定刻となりましたので、ただ今から、『こんにちは県議会です』飯山高校を開会いたします。

本日の司会を務めます、長野県議会副議長で広報委員会委員長の小林東一郎でございます。どうぞよろしく願いをいたします。

さて長野県議会では、県内の高校生の皆さんにより身近に県議会を感じてもらうとともに、若い世代の皆さんの意見や考えを今後の県議会での議論の参考とするため、2年前の28年度から高校生とのグループディスカッションによる意見交換を実施しております。本年度は県議会の広報委員会において、高等学校の統合により3校が統合され、今の高校改革でも非常に大きなテーマとなっております探究的な学び、これを先んじて進めている飯山高等学校の生徒さんたちと意見交換したいと提案させていただいたところ、快く承諾をいただきまして、本日の開催に至りました。本日は、生徒の皆さんをはじめ多くの方にご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。

なお、お手元に議会のご案内のパンフレットと9月定例会の広報紙「こんにちは県議会です」を配布してあります。来年1月20日には、直近の11月定例会の広報紙が新聞折り込みにより皆さんのお手元に届きますので、ぜひご覧になってみてください。

## ○長野県議会議長あいさつ・県政報告

(小林副議長)

それでは、長野県議会を代表いたしまして、鈴木清長野県議会議長からあいさつ及び県政報告を申し上げます。

(鈴木議長)

どうも皆さんこんにちは、と申し上げて、今日のタイトルは「こんにちは県議会です」。今日は飯山へ参りましたけれども、もう少し雪があるかなと思っていました。あまり雪が少なく、今、日差しが非常に柔らかくて、本当にいい天気だなと思っています。グラウンドは雨で濡れて、雪が降ってきて、そんな中で先ほど野球部の選手がユニフォーム姿で、さあさあどう練習するのかと、そんな思いで敷居の中をくぐってまいりました。

簡単に少しメモしてきましたので、ごあいさつ文だけ読ませさせていただきますから、耳だけこちらにして聞いてください。本日は飯山高等学校において「こんにちは県議会です」を開催いたしましたところ、多くの皆さんにご参加いただきありがとうございました。また、開催に当たりまして、ご多用の中、林校長先生をはじめ多くの皆さま方のご協力を賜りましたことについて、この場をお借りし、厚く御礼を申し上げたいと思います。

さて、開催に先立ちまして、県政について若干のご報告をさせていただきます。12月14日まで11月定例

会が開催されておりました。今回の定例会では、本日もテーマになっております外国人労働者の受け入れ、あるいはひきこもり対策など、さまざまな問題について議論を重ねました。

今年度は、このような意見交換を3回実施したところです。過日は、県内の高校生の皆さん約60人ぐらいの方にお集まりいただいて、県議会は何をやっているんですか、どんな仕事なんですか、中には給料は幾らもらっているんですかと、そんな質問もありました。今日は本当に肩の力を抜いてざっくばらんな意見交換会になればと、そんなことを願っています。また、直接教育現場である高校にお伺いして意見交換させていただくのは、本校、飯山高等学校が唯一であります。

本日は、皆さんの考えているテーマについて意見交換をさせていただきます。議員と接する、話をする機会はあまりないと思いますが、今日は皆さんが勉強してきたことや、高校生の皆さんの目線による柔軟な発想からの意見を、遠慮することなく発言していただけたらと思っています。また、ご承知のように選挙年齢が18歳まで引き下がりました。今日は2年生の方々ばかりだとおっしゃってしましから、あと1年すると、皆さんも民主主義の根幹である選挙権の行使・権限・役割・責任、そういうものが付いて回ると思います。本日の経験を契機として、県議会や県政に対する関心を強め、今まで以上に深めていただくことを実は期待しております。

今日は最初に紹介がありましたが、県議会の広報委員の議員の皆さん、そして地元の丸山栄一議員、そして本校の卒業生である宮本衡司議員、それぞれ同席させていただいております。

今日は限られた時間ですが、率直なご意見を聞かせていただいて、私どもも身近な皆さんの代表として、議会活動の中に生かせるものがあったら生かしていきたいと願っています。なお、今日の議員それぞれ発言する機会はあまりありません。皆さんの意見に十分に耳を傾け学ぶ機会ですから、あとは若干それぞれの立場の中で、テーマに沿ってこんな考え方はどうだろうかという発言はあると思います。限られた時間ですが、このひとときがどうか皆さんの心に刻まれるひとときになってくれればなとそんなことを願ひまして、議会を代表してのごあいさつに代えさせていただきます。よろしく申し上げます。(拍手)

#### ○飯山高等学校長あいさつ

(小林副議長)

続きまして、飯山高等学校の林秀徳校長先生よりごあいさつをお願いいたします。

(林校長)

皆さんこんにちは、飯山高校の校長の林でございます。本日は県議会議員の皆さま、また議会事務局の皆さま、お足元の悪い中、飯山高校にお越しいただきまして本当にありがとうございます。また、本校2年生の皆さんも、保護者懇談会后という部活動や学習にふさわしい時間にこの会に参加してくれてどうもありがとうございます。

先週15日に降った雪は、昨日の日中の暖かさで幾分解けましたが、昨夜に降った雪がシャーベット状になりまして、今朝登校する生徒の足元を気にしながら登校してまいりました。同窓会の補助のお陰で、先

週12月10日から冬の期間だけ、木島平方面や山ノ内方面のスクールバスの運行を始めたということで、今朝の通学の足も助かった生徒もいたかと思います。このように冬場だけに限らず、日ごろから同窓会、PTA、地域の皆さん、そして本日お越しの県議会議員の皆さまなど多くの皆さんに、直接的、そしてまた間接的にご支援いただいていることを深く感謝申し上げます。

さて本校は、明治34年設置の飯山北高校、大正10年に設置の飯山南高校、昭和23年設置の飯山照丘高校の3校が平成の高校再編で統合し飯山高校となり、今年で完全統合3年目を迎えました。飯山の地で3つの高校が明治・大正・昭和・平成と長い時間をかけながら、ゆっくりと、しかし確実に大きな変化をしてまいりました。

本格的な冬の到来とともに、残り2週間ほどで平成30年も終わりとなります。そして5月から新たな元号となります。来年2019年には新元号となり、2020年には東京オリンピックが開催され、その冬の2021年1月、現在の高校1年生が3年生の冬にはセンター試験に代わる大学入学共通テストが始まり、2022年度から高校で新学習指導要領が実施されます。これまでの時間の流れに比べると、これからの高校生や子どもたちが過ごす時間は、スピード感と変化に満ちております。

9月に「高校改革～夢に挑戦する学びの～」の実施方針が出され、新たな学びの方向性が示されました。県議会議員の皆さまには、学校として、教職員として、そして生徒として、これから変わらなければならないこと、そして変えてはいけないこと、これを学校の外からの視点で、またこうして高校生の生の声から感じていただいたことを基にご指導いただければ、学校としてもうれしく思います。

本日は生徒にこのような機会を、そして県議会議員の皆さまを身近に感じる機会を与えていただきありがとうございます。短い間でございますが、よろしく願いいたします。(拍手)

(小林副議長)

ありがとうございました。

#### ○出席議員の紹介、進行方法説明

(小林副議長)

それでは、本日出席の県議会議員をご紹介します。

まず、県議会広報委員会の酒井茂議員。

(酒井議員)

こんにちは、よろしく願いします。

(小林副議長)

堀場秀孝議員。

(堀場議員)

こんにちは、よろしくお願いします。

(小林副議長)

小山仁志議員。

(小山議員)

こんにちは、よろしくお願いします。

(小林副議長)

山口典久議員。

(山口議員)

よろしくお願いします。

(小林副議長)

高島陽子議員。

(高島議員)

よろしくお願いいたします。

(小林副議長)

広報委員は以上であります。

次に地元議員として、自由民主党県議団の宮本衡司議員。

(宮本議員)

こんにちは。

(小林副議長)

丸山栄一議員。

(丸山議員)

よろしくお願いします。

(小林副議長)

以上でございます。

議員の皆さんは、ご自身のテーブルの席にご移動ください。

それでは本日の進行方法について説明をいたします。本日はグループごとに事前に決めてありますテーマに関して、約60分間、自由にグループディスカッションを行います。意見交換では必ずしも結論まで求めるものではありませんが、残り15分のところで残りの時間をアナウンスいたしますので、グループ内で話し合った内容を集約した上で、3時10分ごろから、各グループの代表生徒さんの発表と、議員全員から一言感想等を述べていただきたいと思います。1名当たり2分間とし、以下同様に4グループまで順番で発表を行ってまいります。進行方法についての説明は以上であります。

なお、本日の「こんにちは県議会です」はビデオ撮影を行い、あわせて内容を後日議会のホームページに掲載いたします。また、報道の皆さまにお願いをいたします。グループディスカッション開始後は、取材する皆さんは意見交換に支障のない範囲で会場内を移動していただいて構いません。なお、終了後に生徒さんに直接個別に取材をされる場合については、新聞への掲載や放映をする旨の確認をするなど、個人情報保護には十分ご配慮くださいますようお願いいたします。

#### ○意見交換（グループディスカッション）

（小林副議長）

引き続き意見交換に入ります。それぞれのグループで進めていっていただきたいと思います。では、意見交換を始めてください。

#### 【グループディスカッション】

#### ○意見交換・感想等の発表

（小林副議長）

皆さん、まだまだお話ししたいこともあるかと思いますが、時間の都合もありますので、これで意見交換は終了し、各グループの話し合った内容の発表に移らせていただきたいと思います。それぞれグループごとに、1名当たり2分以内で発表と議員の感想をお願いいたします。

では、Aグループの方からお願いいたします。

（Aグループ代表生徒）

僕たちAグループでは、飯山・北信濃の観光について話し合ったんですが、基本的に僕以外の4人の課題研究であるツアーについて、県議員の方たちにお話を聞くことが多かったです。その他にも夏の観光を増やしていけたらいいんじゃないかなという考えと、雪について歴史、ストーリー性を持ってこのツアーをつくっていけたらいいんじゃないかなという意見交換をすることができました。（拍手）

(小林副議長)

ありがとうございました。

次に小山議員、感想をお願いいたします。

(小山議員)

今日は佐久平から30分で飯山に参りました小山です。課題研究でツアーづくりをしている生徒の皆さんとの意見交換をさせていただきました。感じたのは、やはり自分たちの暮らす地域自体をしっかり知っていくこと、学ぶことが大事かなと思いましたし、そのためには歴史や文化、それから自分からも体験をしたり、それからストーリーをつくっていくことが大事かなと思いましたし、最終的にはやはり自分たちが暮らす幸せをお裾分けをしたいというような思いをしっかり持つ、「近き者悦び、遠き者来る」という論語がありますけれども、そんなことが大事ではないのかなと思いました。貴重な機会を頂いてありがとうございました。(拍手)

(小林副議長)

次に地元の宮本議員、感想をお願いいたします。

(宮本議員)

本当に貴重な時間をお話させていただきました。ひとさまに「おいでください」と言うには、やはり自ら生まれ育ったこの地域をまず自分自身が好きになる、誇りを持つ、自信を持つ、そこから始まれば必ずお客さんは来てくれると、そんなようなことも生徒たちと話をしました。何と申しますか、こんな優秀な後輩たちがそろってくれて本当うれしいです。ありがとうございました。

(小林副議長)

続きまして、Bグループ発表担当の生徒さんお願いいたします。

(Bグループ代表生徒)

僕たちB班は今後の飯山・中野地区の高校編成についてと、スポーツ設備の状況・改修などについて話し合いました。それぞれの高校に良さとかあって、どのように合併するかとか、それぞれの高校の特色があるのでどう合併していくかなど話し合いをしていて、高校をキャンパス化するか、完全統合するかなど、そういう話し合いを前半はしていました。

次に、施設の改修などについて話し合っ、それぞれの部活で使っている施設などがあるんですけども、陸上の会場なら屋根をつけるとか、女子バスケットボール部の会場の床が滑ったり、照明が明る過ぎるなどの問題があるらしく、こういう問題がありましたという話し合いをしていました。以上です。(拍手)

(小林副議長)

次に高島議員、感想をお願いいたします。

(高島議員)

とても熱心な討議がありまして、今、皆さんのほうからお話が出たんですけども、自分たちの学校のことをすごく知っている。これから自分の妹や弟たちがこの飯山高校、もしくは違う学校に入っていくということも見据えての話が結構深まったと思っています。

飯山高校の良いところも分かっているので、例えばさっき出たように下高井農林と一緒にになったらこうなるんじゃないかと具体的なケーススタディもあったですし、それから自分たちの出身の地域の小学校や中学校が統廃合されていくということまで言及できていて、ここまで視野が広いのかなと思って感心しました。とてもいろいろと心配してくださっていることも、生かさなければいけないと思います。

スポーツ活動についてはたくさん意見が出ていましたけど、高校生が全県的に活動している中で、例えば長野市のオリンピックをやった大きな施設なども交通のアクセスが非常に悪いので、子どもたちにとっては親を巻き込んで移動に神経を使っているということも、もう少し私どもも重く受け止めなければいけないと思いました。(拍手)

(小林副議長)

次に地元の丸山議員、感想をお願いいたします。

(丸山議員)

今日は大変貴重なご意見、お話を頂きましてありがとうございます。特に感心したのは、ここの班は高校の再編についての話がありました。高島議員からもお話がありましたが、小学校の統合の話とか、結構いろいろなことに関心を持っているという感じを受けました。そういったことでもっともっと地域に関心を持っていただくことが大事だと思っています。

アメリカの『ペイ・フォワード』という映画があります。中学校1年生の子どもが自分だったら社会をこういうふうに変えたいというような課題があって、その生徒がその課題に対して何を提案するかと考えたときに、日本でいうと恩返し、恩返しは相手に対してそれで終わりですが、恩送りという、恩を受けたら3人に対して恩を返す、それを受けた人がまた違う人に返すという、そういった社会ができればすごく素晴らしい世界になるという映画であります。そんなことを思いながら、皆さんは、これからもそういった社会にしっかり関心を持っていただける生徒だと感心して、大変うれしく思いました。ありがとうございました。(拍手)

(小林副議長)

次にCグループの発表担当の生徒さん、お願いいたします。



(Cグループ代表生徒)

私たちのグループでは、外国人労働者の長野県の受け入れについて話し合いました。たくさん意見が出てきてあまりうまくまとめられませんが、長野県でも結構低賃金だったり、労働状況がひどかったりそういう実態について話し合うことができて、やはり長野県も、日本全体の問題としても出ていとおおり、人権とかそういう基本的なところが曖昧なので、そういうところを直していって、長野県にも受け入れが、お互い家族みたいな感じに支え合いながらできていけばいいのかなと思いました。(拍手)

(小林副議長)

では私からも感想を申し上げたいと思います。「労働力を呼んだつもりが、やって来たのは人だった」という言葉を聞いて、生徒の皆さんと話し合いをしたわけでありすけれども、やはり人としてお互い尊敬をしながら外国人労働力の受け入れをしていかなければならないということでは、高校生の皆さんと同じ認識ということで大変心強い思いをしたところでもあります。

ただ、今、テーブルの上に長野県の企業局の「川中島の水」ということで水のペットボトルがありますが、外国人がわが国に入ってくる中で、やはり日本として守っていかなければいけない部分もあるのではないかと、そういったことのグループ協議も含めて、こういう問題というのはきちんと線引きも含めてルールをつくっていく必要があるなということを、改めて今日感じたところでもあります。

次に山口議員、感想をお願いいたします。

(山口議員)

外国人労働者の問題をどう考えるのか、その受け止めから始まって、本当に必要なのだろうか、今、長野県は必要としているのだろうか、そして受け入れのあり方はこれでいいのだろうか、どうあるべきだろうか、非常に本質的なところでいろいろな意見交換ができて、そういう意味では私も勉強になりました。高校生の皆さんが、この間皆さん自身がいろいろな探究的な学びの中で、自らの力で考える、そして自分の言葉で自信を持って語る、その頼もしい姿に今日は感銘を受けました。

実は私も、家に帰ると高校2年生が1人おりますけれども、今日皆さんとの意見交換したことも、うちに帰って伝えたいなと思っています。ありがとうございました。(拍手)

(小林副議長)

次にDグループの発表担当の生徒さん、お願いいたします。

(Dグループ代表生徒)

Dグループでは、始めに長野県内の新たなスポーツ施設について話をしました。飯山高校の話から県内の話であったり、例えば飯山だったら雪があるけどその中でどういうふうに工夫をして部活をしていかなど、あとは市によって運動施設の偏りがあるんじゃないかなど、そういう話をしました。

後半のほうでは、過疎化地域にブレーキをかけるためにはどのようなことをしたらいいかということで、

今日の話の中で出た内容では、今、過疎化になってきているこの地域で逆に都会の人に田舎暮らしを少し経験してもらうなど、あとスポーツでいえば、スキー場がたくさんあるのでスポーツの観光をつくったり、あと無駄なお金、例えば地面に地熱のものを入れるお金を他の部分に回したらどうかなど、いろいろな工夫ができるんじゃないかという話をしました。以上です。(拍手)

(小林副議長)

では次に酒井議員、感想をお願いいたします。

(酒井議員)

今2つの課題について話をしましたが、本当に高校生の皆さんは地域のことや長野県のことをしっかり考えてくれているんだなど、うれしく思いました。

それぞれの課題について一つずつ感じたことを申し上げますと、まず学校によってスポーツ施設の問題、これはそれぞれいろいろな思いがあるわけですが、これからの学校再編と統廃合する場合に、やはりみんなが使える、どうしたらいろいろなスポーツ施設を使えるようになるのか、どう配置をするのかということをよく考えながら配置や設備を考えていけば、この飯山高校の反省点が生きてくるのかなと思いました。

もう一つは過疎化の問題ですが、やはりこれから過疎化をストップしていくにはここに住んでいられる環境づくりというのが非常に重要で、そのうちの一つが子育てがしやすい、医療が受けられる、これは基本的にしっかりしていかないと、安心して住める地域にはならないかなと思いました。本当に素晴らしい意見を聞くことができまして勉強になりました。ありがとうございました。(拍手)

(小林副議長)

では堀場議員、感想をお願いいたします。

(堀場議員)

今日は本当に、高校生の皆さんが自分のときには考えられないことを考えてすごいなと感心するばかりで、ぜひ意見、考え方を続けて持っていていただければ、地域がもっともっと良くなるのかなと大変勉強になりました。ありがとうございました。(拍手)

○飯山高等学校長及び長野県議会議長感想発表

(小林副議長)

では締めくくりに、校長先生及び議長から感想をお願いしたいと思います。

まず林校長先生、よろしくをお願いいたします。

(林校長)

ありがとうございました。一言、感想を述べさせていただきたいと思います。本日、本当にありがとうございました。

一昨年から18歳選挙権が実施されまして、高校での主権者教育の役割がこれまで以上に重要となっていく中、とても意義深いものだったと思います。そして、今日は本当に議会、そして県議会議員の皆さまを身近に感じる事ができたのではないかと思います。

今まで議会で何がなされていたのかということが高校生には分からなかったかもしれないけれども、議員さんはいつも本当に住みよい環境づくりだとか、あるいは我々の安全を守るような、そんなことを考えていてくださる。そして、こういうふうに話をすれば丁寧に聞いてくださって、すぐにできること、また将来できること、そんなことを考えていただけるということで、とても皆さんも安心したのではないかと思います。

私も聞いていて、とても生徒の皆さんは普段からやはり鍛えられているのかなということで、こういう場面がよくあるので、人の話を聞いたり、そして自分の意見を自分の言葉で伝える、そういったことを普段からやっている分、こういったところでも堂々とした発言ができたのではないかと感じて、校長としてもとても頼もしく皆さんを見ていました。

ただやっぱり、普段同じ年齢の生徒だけでディスカッションしているのでなかなか気付かないところもあると思うのだけれども、今日は議員さんの広い視野とそして高い視点からのご意見が聞けて、とてもいつもとは比べものにならないほど参考になったのではないかと思います。

皆さん本当に飯山が好きで、飯山高校が大好きだということが、議員さんに伝わったのではないかと感じております。本当に本日は生徒のために、普段体験できないこういった機会を与えていただきまして、皆さんに感謝する次第でございます。ありがとうございました。(拍手)

(小林副議長)

林校長先生、ありがとうございました。

次に鈴木議長から、本日の高校生との意見交換会全般を含め感想をお願いいたします。

(鈴木議長)

今日は4つのグループに分かれて、それぞれテーマごとに自由闊達に意見を述べさせていただきました。議員の中には謙虚に耳を傾ける人、自主的発言をし、自分の思いを十分受け止めてほしいという自己主張の強い議員も見受けられました。そうは言っても今日初めての試みですから、来年高校生活3年生で最後の締めくくりの1年になります。卒業後は自分自身の責任で高等教育、大学、短大を目指す人もいれば、社会人として自分の責任で人生を切り開くだろうという方々もいらっしゃると思います。

今日のこの時間、長野県議会とはいったいどんな役割を担っているのかな、議会というものは食べ物や設備ではありません。やはりその中に介在し、役割を担うのは人間であります。今日皆さんと話していた議員は、長野県民の中で選ばれたそれぞれの議員です。今日の議論の中で国に関わること、国の設計変更、制度変更によって地方自治体といわれている県や市町村に関わってくるようなテーマ、それから

長野県で何とか努力すればかたちになるのかなというテーマがありました。

そして、それぞれの内容に関しては、丸山議員、宮本議員、自分の寄って立つ基盤が違います。ですから、全体像を見た中でそれぞれ事実なのですが、自分に寄って立つ基盤によって、物ごとの物差しの目盛が若干違う場合は、受け止め方、説明の仕方も変わってくるということもぜひ受け止めていただきたいと思います。

今日は飯山市の渋川議長をはじめ市会議員さんも大勢お見えになっています。飯山で生まれ育ちこの地域を担っていく皆さん、一番身近な行政は飯山市政です。飯山市政に対して皆さんの願いの声を届けるのは地元の市議会議員です。私ども長野県議会もできればこれからも、長野県内77市町村ありまして、全国4番目に広い面積があります。それぞれの地域や歴史や文化がある、そんな方々と意見交換をしながら、長野県全体が誇りを持てるような県にぜひしていきたいと願っています。

今日は市議会議員がいらっしゃるから、これを閉じた後に子どもたちと市議会議員の皆さんと懇談会をやるよという提案をぜひしてやってください。大変勉強になりました。ありがとう。

(小林副議長)

鈴木議長ありがとうございました。

○閉会

(小林副議長)

以上で、『「こんにちは県議会です」飯山高等学校』を終了するわけであります。

ここの大講義室の正面に犬養毅さんの額がかかっています。「弗為胡成」(なさずんば、なんぞならん)。これは飯山高校の皆さんの座右の銘であるということでもあります。

どうか生徒の皆さん、今日の様々話し合った内容、これから学校の方でももう一年飯山高校での生活があるわけですが、学校生活の中で活かしていただきたいと思います。さらには、我々議員にとってみれば、今日は若い人たちとの懇談ということで様々な課題をいただいたことになるのかなと思います。それぞれの議会活動の中で活かしていただき、この若い皆さんのフレッシュな感性が県政の中に取り込まれていくようにぜひ活用を期待というふうに思います。

生徒の皆さん、そして、会場の皆様におかれましては、長時間にわたり熱心にご参加をいただき、誠にありがとうございました。